

市民意見の募集結果（原文）

番号	意見
1	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機時間のロスによく気がついてくれました。感謝。 <p>でも言われてみればその通りですね。一時は廃止も論じられた気の毒な路線でしたが、生き返ってよかった！でも、本数は少なく、コストにも問題あり、継続できるか、心配？</p> <p>せめて助成金が 2/3 程度あれば可能かも ……！？(車両・路線増加？)</p> <p>1. 25 説明会会場で参加者から報告があった日本最初のコミュニティバス走行実施の町では箕面市の 3 倍もの車両で運行と報告されたが、一度調査してみる価値があるのでは？</p> <p>問題点および改善希望点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日・祝コースではコースを数字の番号で決めています、これは利用者には非常に解りづらく、そのため利用者各人が乗車のたびにいちいち行先を運転手に確認をしています。このため運転手は同じ回答を乗客に繰り返し答えなければならず、それが運転手の負担になるばかりではなく、遅延の原因になっている可能性がないとは言えないのではないのでしょうか。 <p>ぜひ、地名および経由地などの市民にもわかりやすい表示して、「利用者にとって」利用しやすいバスにして利用者増加を図ってください。</p> <p>箕面市にも立派な地名があるのだから、行先・目的地そして経由地を示せば、上記の負担やロスは減少するの？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の新聞によると、「高齢者から運転免許を返上させる」という記事がありましたが、こういう条例？をつくるのなら必ず「市民にとって便利な使いやすい公共交通」がその裏打ちとして設定されていなければならなりません。箕面市では自家用車が多く、それが道路の渋滞を招いている原因の一つになっています。 <p>今は運転可能でも遠くない将来、誰でも運転できない時期が来ないとは限りませんが、自家用車運転手はそれに気がついていません（いつまでも「若い」と勘違いしている…？）</p> <p>でも、現在の高齢者が安心できる公共交通を利用していれば、将来の高齢者の未来は明るくなり、その時が来れば安心して運転免許返上が可能になるのでは？そのため、平日、日・祝を問わず、公共交通は必要です。これからも市民は行政に動に関心を持ち、少しでも使いやすい方向に、少しずつでも諦めずに市民が納得できる公共交通運行に市民も責任を持ち進みたいと考えます。</p>

2	<ul style="list-style-type: none">・前回の改正で、月～土コースの時間が毎時同時刻になったのは高齢者にとって本当に有難い事で助かりました。ありがとうございました。・今回の小野原方面の日・祝コースが、カットになって、新しい実証運行が始まるということですが、案として、小野原東まで来て、ユータウンして、<u>公共施設である小野原東の多世代地域交流センターに停まってから</u>→小野原東 4 丁目→小野原東 3 丁目→春日神社前→西の多文化交流センター前を通っていくように出来ないでしょうか・・・検討お願いします。・次に、小野原東 6 丁目の友人達から聞いた意見を書きます。箕面駅・警察前・かやの中央・市民病院・稲ふれあいセンター等は大きい公共施設が有り市民が集まって当たり前です。そういう場所のバス停の人数と、箕面市の地形から見ても端っこに位置する、小野原東を同じ目線で見るのはおかしい！市全体を公平な目で見べきです。同じ税金を払っているのに、辺りな場所で、乗降客が少ないからと切られてしまったのでは、箕面市の行政として、これでいいの？と疑問を持ちます。納得できません。 市の税金を 50%使って動かしているバスなのですから、全市民に公平で納得出来るものにして下さい。・端っこの辺りな所に住んでいる住民程、此のオレンジバスを頼りにしているのです。いじくり廻すのは、もういいかげんにして下さい。一度通したコースは止めるべきでないです。止められる地域の人々の気持ちになって下さい。
---	--

3

今回の日曜・祝日ルート等の見直しで利用者が増加すると思えません。廃止に向けた実証実験と思わざるを得ません。それは、

①運転手の効率性を求め、1ルートを60分以内に行っている。そのため必要と思われるコースが外れている。

②全体のルート走行距離が短くなり、拡充でなく縮小になり、小野原東地域等のコースが無くなっている。

③“何故、増えないのか”の分析が収支率向上の観点で利用者本位に立っていない。また、平成25年6月から日曜・祝日ルートをつくり、1年間実証実験を実施し、それで利用が増えなければ廃止するといっていたが、今回更に1年間延長するのは、国からの補助金が出るので実施するのではないのでしょうか。これは、必要とする人の見地に立った延長ではありません。

今回の再実証実験で利用者が増加しない場合は廃止の方向ですが、そうでなければ、現在利用されている方や、車がない方、高齢者や障害者等にとって大きな打撃になると思われます。オレンジゆずるバスの月～土の平日ルートは、収支率が52%あり、全国でもトップクラスを維持しており、好調に運行しています。と、もみじだより1月号で述べています。個々で黒字や赤字の部分があっても全体で収支比率が高ければ、市民の移動の権利を保障し、確保する立場から廃止すべきではありません。

そもそもオレンジゆずるバスはコミュニティーバスであり、民間会社が走らないルートや、採算にこだわらないで運行する公的な性格を持っています。民間会社と同じ発想で収支率を重視する所に問題があるのではないのでしょうか。

高齢化社会を迎え、高齢者や障害者等が安心して移動し、暮らせる交通網が重要です。乗用車の依存率を少なくし、公共交通中心の移動手段は安全で環境にもやさしいのです。移動の権利まもり確保することは行政の責務です。箕面市は東西間の移動が不便で公共交通が不足している中、コミュニティーが生まれ、活性化にも繋がります。市民はそのようなオレンジゆずるバスを求めているのではないのでしょうか。

オレンジゆずるバスの運行を利用者の立場で提言します。

①収支率第一にせず、市民の足を守る立場で運行する②分かり易い路線にする③ルートを増やして乗車時間を短くする④高齢者や障害者等でも行ける身近なバス停を増やす⑤利用者が少なくても地域にとって必要な移動手段であり、利用者数だけで廃止しない⑥北千里駅や千里中央駅等の近くの駅への乗り入れも行う。

以上を提言を真摯に受け止められ、ご検討していただけるようよろしくお願いします。

4

①運転士のシフトを見直しなど、創意工夫をしてくださっていることに、感謝します。

しかし、このオレンジゆずるバスの主な目的は、高齢化が進む中、阪急バスが行かない「交通不便地域」や「坂の多い地域」に住む方々の生活（買い物・病院・金融機関・市民活動などの移動）を確保することであったと思います。

特に、東部北や東部中のルートがないまま話が進められたり、今回のように、小野原東地域がカットされたりするのは、本末転倒のように思います。

また、平日と日祝のルートやダイヤが大きく違うのは、大変わかりにくいです。

★以上のことから、「日祝も平日と同じルートを走る」ただし「便数は2時間に1本とする」という案を検討して頂きたいと思います。

平日ルートでは、小野原東4・5・6丁目が平均8名ずつとなっており、利用の伸びもみられます。東山住宅も南公園と北公園をたすと9人を超えます。平日ルートを確保しながら、2時間に1本のパターンダイヤにすることで、負担を少なくできればと思いますし、平日と同じルートにした方が、皆さん、使いやすく、将来的にも定着・拡大しやすいと思います。

この案で、どれくらい運転手数や設備費などの予算をおさえられ、どれくらいの収支が見込めるか、ぜひ、検討して頂きたいです。

②見直し素案に、参考資料として、「OD調査」「市民アンケート調査」「バス利用者アンケート調査」が、掲載されていましたが、どれも、地域別の意見傾向がわかりませんでした。特に、「市民アンケート」では、利用する・しないの理由と地域との相関性をクロスで見て分析してほしいです。（またアンケートされる機会があったら、ご配慮ください）

③とどろみ・森町については、阪急バスから乗り継いだら、割引されることや、その方法（一日乗車券や乗車証明書のこと）をもっと住民の方々に知らせてほしいです。

④基本的には、①にも書きましたが、「走らせるなら、平日と同じルートで走らせる」です。そこまでの費用がないのなら、

- ・（第一案）「日祝は平日ルートで2時間に1本走らせる」
- ・（第二案）「まずは祝日だけでも平日ルートにする」
- ・（第三案）「日祝を廃止して、平日を充実させることに使う」

のどれかにした方がいいと思います。

みんなに使ってもらうには、「わかりやすさ」が大切ですし、変更に伴う運行経費以外の経費もできるだけ抑えることが必要です。

なじみのある平日ルートでの利用を促進・拡大し、まずは、介護保険をつかわなくても、市の負担を抑えられるようにしていくことも必要だと思います。

5 山手公園前・平和台は、福祉バスの時代から乗降客が多かったことから、バス利用者の多い地域と思われる。

一方、福祉バスの時代にバス停のなかった「小野原東・多世代地域交流センター・小野原東5丁目・6丁目・小野原東4丁目」は、実証運行で路線改良を幾度も繰り返した地域であるにもかかわらず、合計すると8.4人となり、バス利用者がみえてきたように思う。

平日の利用状況もあることから、平日ルートを活用して、バス利用を促進してみてもと思う。

小野原東4 = 8.4 小野原東 = 3.5 小野原東6 = 4.9

小野原東5 = 10.7 多世代地域交流センター = 3.4

日祝のルートは、運行目的「買い物・娯楽」のアンケート資料40頁によると、平日の買い物・娯楽利用客数よりも、日祝の買い物・娯楽利用客が多いという結果ではありません。

「買い物・娯楽」での客足をのばすには、箕面市内に商業施設、娯楽施設が充実していないように思います。（「ウインドウショッピングや買い物を楽しむには、千里中央、梅田などに出かけるではないか」「映画館、水春、スーパーガーデン、bb、遊ぶ場所としてお金がかかりすぎるので、そんなに利用しないのではないか」）

「買い物・娯楽」の利用客が増えているように思わないので、福祉バスの検討をはじめた当初の意向である「公共交通の整備」で考えてはと思います。

①福祉バスの運行時の市支出額4000万円という当初の目標はできるだけかえず、利用促進で運賃収入が増えるまでは、日祝の廃止でよいと思う。介護保険での補てんは、いずれなくすことも考えておく必要があると思う。

②平日運行以外にも少しでも走らせるのであれば、祝日を平日ルートで走らせ、月～土は平日運行で行ってもらいたいと思う。日曜は、運賃収入が増えた場合平日ルートを採用し、運行して行ってほしいと思う。

時刻表・バス停表示を一種類にできることから、雑費の削減できると考えます。「経費を抑える」特に「バス運航費以外の経費は抑える」を基本にしてもらいたいです。

また、「削減・廃止ではなく利便性の向上を追加していく」方法をとってもらいたいと考えます。例えば、「学校の長期休暇の日曜日にも平日ルートを走らせる」「公共施設イベント日に平日ルートを走らせる」「第一日曜日に平日ルートを走らせる」など、少しずつ増やすことで、利用促進の成果をみせていくことができれば・・・と思います。

6

(1) わかりやすいルートとダイヤで

あらたなルートはコンパクトで分かりやすくなっています。

ルート名も行先を入れたわかりやすい命名をお願いします。

できればダイヤも平日同様、わかりやすいパターンダイヤで組めるようにしてほしい。

(2) 小野原地域のルートの提案

小野原地域は東地域が先に開発され、高齢化がすすんでいます。

今度の案では小野原西でループ状になっていますが、それよりもバスがターンできる東の旧マネキヤのところまで路線を伸ばし、ピストンにしたほうがいいのではないかと考えます。今は車を利用している方もいずれは公共交通に頼ることになります。今後のことを考えて、小野原東の住民の方の利用促進を図る方がいいのではないのでしょうか。

(3) 阪急バスとの連携を

阪急バスと競合するのではなく、それぞれの目的とルートを組み合わせることで公共交通が充実していくことがひいては車社会からの脱却になると思います。

とりわけ、山麓線の路線バスが増えれば相乗効果をもたらすでしょう。

(4) 乗継ぎが可能なダイヤ編成を

一日乗車券が活きるように乗継ぎを前提としたダイヤ編成を望みます。

(5) 箕面駅前の混雑緩和にショッピングセンターの協力を

週末はとくにいかりやコーヨーなど、マイカーで買い物に来られる方が多く、交通渋滞を招いていて、バスのダイヤにも影響を与えている。

これらの事業者の協力も欠かせないので、ぜひサポーター店になってもらうよう公共交通政策をすすめる立場から協力要請をしてほしい。

7	<p>日曜・祝日の運行見直しについて</p> <p>オレンジゆずるバスが運行され始めた時は、平日・日曜・祝日も同じルートだったのでよく利用していました。そして日曜日の<u>滝道ウォーキングを楽しみにしていました。</u>しかし、<u>運行が見直しされてからなぜか小野原から箕面駅までの直行がありません。(なぜ?) かやの中央での連絡も悪く、乗りつぎをして利用は不可能です。かやの中央への運行は望みません。</u></p> <p>「買い物・娯楽」に合わせたダイヤ?</p> <p>荷物をたくさん持ってバス停まで歩き、バスを待ち、バスに乗って帰るには<u>無理があります。</u>やはり車?箕面市に住んでいて、滝道への連絡が悪い、ない?非常に残念です。箕面の滝大好き、オレンジゆずるバス大好き。<u>“滝道とオレンジゆずるバス” どうぞご配慮下さい。</u></p> <p>希望は、小野原から市立病院→中小前→市役所→箕面駅</p> <p>今のままでは、箕面に住んでいながら箕面の滝には行けません。子どもを含めて!!</p>
8	<p>行きも帰りも箕面駅と聖母被昇天学院前を運行するのに、間にバス停が無いのは不便。箕面駅から買い物袋を持って坂道を登るのは、高齢者にとっては非常に大変!是非とも、瓢箪池のあたりにバス停を作って欲しい。</p>